



廿日市市教委だより

令和2年
9月15日
第5号

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～



9月1日より2学期が始まりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2学期に予定していた行事等が大幅に変更となり、いろいろ苦労されていることと思います。そんな中でも、各学校において工夫した取組を実施しながら、児童生徒の小さな成長を見逃さず、子どもたちと一緒に喜び合えるような2学期にしていきたいと思います。



第1回「学びの变革」推進協議会

令和2年9月7日（月）第1回廿日市市「学びの变革」推進協議会を行い、学力推進地域事業指定校である佐伯中学校の木村先生より実践報告、広島県教育委員会義務教育指導課小池指導主事より講話をしていただきました。

実践報告 佐伯中学校 教諭 木村央子先生

○「個別の指導計画」を活用した取組

①つまずきの実態→②つまずきの要因→③要因に対する具体的な指導の手立て

「個別の指導計画」を活用しながら①～③を教職員で共有し、その変容から更なる実態・課題を見つけ、指導・支援をする。

○参加者の声

・「個別の指導計画」を本当の意味で活用されている素晴らしい実践だと感じた。

・担任任せにするのではなく、学年やいろいろな職員で実態を把握し、手立てを考えるということを自校にも取り入れていきたい。



・「個別の指導計画」を活用することで、教職員同士や支援員との連携がスムーズに行えている点が参考になった。

講話 広島県教育委員会学びの变革推進部
義務教育指導課 指導主事 小池紘太郎

○今年度の「学びの变革」のキーワード

全教員が日頃の授業改善を行う。

○カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価

・児童生徒の**具体的な姿**をイメージして、目標を立て、指導し、評価する。具体的な姿がイメージできていれば、**目標・指導・評価**がぶれることはない！

・『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料を活用した校内研修を実施し、全教員で自校の学習評価の方針を共有する。

廿日市市の強みは、児童・生徒の**具体的な姿**を掲げていること！！



廿日市市における「学びの变革」の推進

○「授業改善」振り返りシートを活用し、自分の授業を振り返る。

○特別支援教育の視点に基づいた学習指導と生徒指導を実践
「なぜできないかにこだわる
～多様な子どもに多様な支援～」

今年度も廿日市市では、組織的な取組を積み重ね、**全教員が授業改善**を行います！

廿日市市こども相談室の取組

本市唯一の公的な適応指導教室である廿日市市こども相談室は、9月1日現在、11名の生徒が廿日市教室に、2名の児童生徒が佐伯教室に通室しています。こども相談室が「児童生徒の心の安らぐ『居場所』としての役割を果たしつつ、学校復帰や社会的自立を支援していく」という方針のもと、6名の先生方が日々きめ細やかな指導に取り組んでいます。加えて、通室している児童生徒や保護者の方と信頼関係を築き、相談・支援も行っています。



廿日市教室



佐伯教室

8月27日には、「廿日市市適応指導研究協議会」を開催し、生徒の事例を基に指導・支援の在り方について協議を行いました。外部から専門家をお招きし、専門的な立場からの指導助言をいただき、その後の指導等に役立てています。

このような丁寧な取組が少しずつ実を結び、昨年度こども相談室に通室していた中学3年生の9名の生徒は、全員が自分の進路を実現し、充実した生活を送っているとのこと。このことから、こども相談室での生活が社会的自立につながっていると同時に、本市の教育に大変重要な役割を果たしていると言えます。こども相談室の先生方がもっている、学校に來にくい傾向のある児童生徒への対応やアプローチについての様々な引き出しは、きっと小・中学校の先生方にとっても参考になることが大変多いのではないのでしょうか。今後も相互に連携を深めていただきたいと思います。

〔主任指導員 弓場先生からのコメント〕

こども相談室の運営は児童生徒の所属校との連携が不可欠で、学級・学年行事等に関する情報の提供、提出物や各種テスト等のやり取り、本人や家庭に関する情報の交流など積極的に協力していただいています。利用する子どもへの対応の難しさは職員も同じです。もっか学校に居場所がない子ども達を担任する先生方には、『こども相談室』も学級の一部であり、職員は共通の子どもと向き合うチームの一員として受け止めてもらって、電話で結構ですので遠慮なく相談してください。

スポットライト!

~この人に注目~

◆阿品台東小学校で7年目となり、「学びの変革」推進担当教員として学力フォローアップ校事業を引っ張る横溝改先生に、今回お話を伺いました。

Q1 阿品台東小学校の強みを教えてください。

教職員の協力体制です。職員室では、子どもの話になるとみんなが話の輪に入ってきます。子どもの色々な姿をみんなが知っています。困っていれば、自分の事は後回しにして助けてくれますし、一人が声をあげたら、みんなが動いてくれます。みんなで子どもを見て、みんなが考え、みんなが解決していこうという空気が常にあります。この強みを本校だけのものにせず、次の職場にも繋げていきたいです。



阿品台東小学校
横溝 改 先生

Q2 教員として、また研究主任・「学びの変革」推進担当教員として意識していることを教えてください。

意識しているのは、『子どもに、学び方を学ばせてやる』ということです。臨時休業中に自分で学べない子どもが多くいることを改めて実感しました。自分で学ぶ力を付けさせるための取組や支援の工夫、成功体験を常に意識しています。

Q3 今後チャレンジしたいことを教えてください。

ミートやジャムボードを取り入れた授業を積極的にを行い、第2波、第3波に備えて、学校でも家庭でも成り立つ学習形態を確立していきたいです。

横溝先生のお話から、子どもの小さな変化も見逃さない視野の広さや、子どもや先生方と一緒に喜びを共感する温かさを感じました！そんな素敵な横溝先生に注目です！

つながれ！広かれ！宝の山

宮内小学校では、「小中連携」と「リーダー掃除」というキーワードで高学年の目指すリーダー像に迫る取組を行っています。

昨年度、野坂中学校区の取組の1つとして、「小中合同掃除」が行われました。これは、中学生が中学校で行っている掃除の仕方や掃除に対する心構えを6年生に実際の掃除を通して伝えるというものです。

そこで学んだことを生かし、今度は6年生がリーダーとなって下級生に掃除の指導を行いました。

昨年度、この取組を通して、当時の6年生に芽生えてきたリーダーとしての自覚や責任感を今年度もつないでいきたいという思いから、今年度より「リーダー掃除」を始めることにしました。

「リーダー掃除」

6年児童が、各掃除場所を1、2名ずつ担当し、下学年に掃除の仕方や道具の使い方等の手本となるように一緒に掃除をする。反省会も6年児童が中心となって行う。

コロナ禍で、十分な取組にはなっていないということでしたが、実際に掃除の様子を見てみると、子ども達が一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。特に雑巾がけの仕方は、中学校から野中拭きがきちんと受け継がれており、どの場所でも同じ拭き方が行われていました。

中学生から6年生、6年生から下級生へ受け継がれていく掃除の仕方と心構え。掃除の仕方を徹底することも大切ですが、リーダー掃除を通して、「高学年へのあこがれや尊敬の気持ちを育てたい。」「高学年の自己有用感を育てたい。」という明確な意図が感じられる宮内小学校の取組に、また1つ宝物を見つけました。



特別支援教育の視点に基づいた学習指導と生徒指導

今回は、ユニバーサルデザインの3つの視点の内、「焦点化」についてお伝えします。

焦点化：授業のねらいや活動をしぼること

例えば…

☆本時の流れの確認、めあての提示☆

→活動内容や目標、活動の流れをイメージさせます。パターン化された活動の流れを示しておくで見通しをもって活動しやすくなります。

身に付けさせたい学習内容等を焦点化し、めあてとして提示することで、何ができればよいのかゴールイメージをもつことができます。



☆観点や視点の提示☆

→観点や視点に気付かせ、方向づけると、児童生徒の取組課題が焦点化され、考えたり話し合ったりしやすくなります。



次回は、「視覚化」についてお伝えします！

ICT活用への道

国のGIGAスクール構想によるタブレット端末整備が現在進行中です。第5号では、その進捗状況について、お知らせします。今回の整備では、「1人1台」と「ICTでの課題提示（学校と家庭での併用）」がキーワードとなっています。家庭の状況に応じて、学校のタブレット端末を子ども達が持って帰って使えるよう、Wi-Fiへの接続が可能で、G Suiteにも対応しているOSである「Chromebook」を導入します。タブレット端末の整備とネットワーク工事が、同時進行になっていますので、新しい環境での本格的な活用は令和3年度からを予定していますが、小学校6年生と中学校3年生には、現在のネットワーク環境で可能な限り活用できるよう準備し、10月下旬から11月にかけて、各学校へ納品されます。

今後は、G Suiteの機能を活かしてクラウド上に課題が提示できるようになります。もちろん、電子黒板との連動もできるように、スタディネットも使えるようにしています。プログラミング教育にも対応できるようにスクラッチも使えます。これから、先生方への研修ができるよう準備しています。また、G Suiteの機能については、この市教委だよりでもご紹介していきますので、また次号をお楽しみに！

今回、導入する
タブレット型PC
です。

